

第3回

[日 時] 平成28年7月16日（土）18:30 - 20:30

[場 所] 石巻専修大学5号館 2階「学生ホール」

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう パート2

- 世界に誇れる『あいさつ・清掃・ゴミ拾い』を目指して -

[使用したテキスト]

- ・『耕人』5-1.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

1 塾長挨拶【10分】

大事にしてほしいことが3つあります。

- ・高い志をもち、それを達成するために日々努力してほしい。
- ・自分がしてもらっただけでなく、誰かのために何ができるかを常に考えられるようになってほしい。
- ・普段から正しい礼儀を意識し、さり気なく、礼儀ができるようになってほしい。



2 第1回、第2回耕人塾を振り返って【10分】担当：平塚

まず始めに、アイスブレイクとして、班のメンバーと挨拶をしながら握手をしたり、自己紹介をしながら最近あった楽しいことや嬉しいことを交流したりしました。

その後、第1回耕人塾の講話や第2回の石巻駅前周辺のゴミ拾いをして感じたことを班の中で交流しました。「石巻のことをもっと知りたい。」「実際にゴミを拾ってみたら、小さいゴミが多く落ちていた。」などと話す塾生もいました。お互いに話をするうちに、班の雰囲気も和らぎ、にこやかに会話を楽しむ班も増えていました。



3 講話「私の人生を変えたボランティア?活かし、活かされる関係をつくる?」

講師：岩元 暁子 氏（石巻復興きずな新聞舎 代表）

神奈川県横浜市出身。日本マイクロソフト社で4年ほど勤務。震災後、ボランティアで石巻に入り、2012年4月からピースポート災害ボランティアセンターのスタッフとなり、今年3月に終刊した「仮設きずな新聞」の編集長も務めた。4月からは、『石巻復興きずな新聞舎』の代表となり、石巻市内の仮設住宅や復興住宅に無料配布する情報紙「石巻復興きずな新聞」を制作している。

講話の第一声が、「私の話を聞く間は、絶対に寝ないでください。」という一言でした。以前、世界の研修社員の方に、「日本人は礼儀正しいと思っていたが、人の話を聞く時に居眠りをするなんて失礼だ。」と驚かれたそうです。それ以来、岩元さんは人の話をしっかりと聞くことを意識し、絶対に寝ないようにしているので、塾生にもそうしてほしいということでした。



次に、自己紹介をしていただきました。家族のことや中学・高校時代のこと、アイルランドに留学したことなどを詳しく教えていただきました。アイルランドに留学した際に、「自分が楽しいと思えることが一番大事」ということに気付かされ、これまでの自分の考えが大きく変わったそうです。

大学を卒業し、「自分がチャレンジできる環境に就職することが大事」という思いから、日本マイクロソフト社に入社しました。コンピューター関係にとっても詳しく、仕事を手際よくこなしていく同僚たちに比べ、自分は仕事が思うようにできないことに、劣等感を感じる日々もあったそうです。

退社後は、通訳のボランティアを行いました。仕事内容としては難くこなすことができましたが、ボランティアを行っている方々と行政の方々の関係がうまくいっていない状況でした。そこで、両者の間に立って運営のサポートを行う役割に就くことになりました。その時に、「自分のこれまでの人生で身に付いたスキルが、誰かの役に立つことがある」と実感できたそうです。



続いて、東日本大震災後から現在に至るまでの経緯などを、3つの観点で話してくださいました。

(1) 「私がどうして石巻に来たのか」

東日本大震災の時に、自分に何かできることがないかと思い、ボランティアを行うと決めました。いくつかある団体の中から、「ピースポート災害ボランティアセンター」を選び、災害ボランティアを始めることにしました。なぜ、ピースポートに決めたかという点、団体の考えに共感したことはもちろんですが、初めに厳しい体験をすれば、後からどんなことも楽に感じられると思い選びました。

(2) 「私が石巻で何をやってきたか」

初めの1週間だけボランティアをやろうと思っていたが、延長して石巻に残ることにし、ボランティアで来た人達をサポートするリーダーになりました。その後、「仮設きずな新聞」の編集などを手伝うことになりました。仮設団地を訪問し、一軒一軒に完成した新聞を手渡ししながら、悩みや近況を聞いて

て回りました。初めは大変でしたが、取材や訪問を重ねるうちに、徐々に魅力ややりがいを感じられるようになりました。

2016年3月に「仮設きずな新聞」を終刊しました。すると、住民の方々から「続けてほしい!」という願いだけでなく、手伝ってくれていたボランティアの方々から「続けたい!」という声が上がったこともあり、新団体を立ち上げて継続することになりました。現在は、「石巻きずな新聞」の発行を行いながら、一度はやりたかったと思っていた臨床心理士と似たようなことが、形を変えて実現したように感じています。

(3) 「今どんな想いで石巻にいるのか」

自分と同じように、ボランティアとして他の地域から来た人達を感じている「自分の価値」を、地元の方々にボランティアを手伝ってもらいながら感じてほしい。誰かの役に立つことで、自分の自信になってくれればと思っています。また、地元の方々に、石巻に来たボランティアの橋渡し役になってほしい。自分がやってきたことを地元の方々にやってもらうような環境を作ることが、今の自分がやるべきことかなと思っています。

最後に、「15歳のわたしに今伝えたいこと」というテーマで、塾生にメッセージをいただきました。

1 「誰かの役に立つことは素晴らしい」

様々な経験をすることが、いつか自分の自信になる。

2 「何かをしてあげることよりも、お互いを活かし・活かされる関係をつくることが大事」

何かをしてもらっているだけでなく、自分も何かをしていくことが長く続けていく秘訣である。

3 「まわり道はキャリアの強みになる」

これから先、たとえ失敗したなと思うことがあったとしても、それはいつか自分の強みになる。



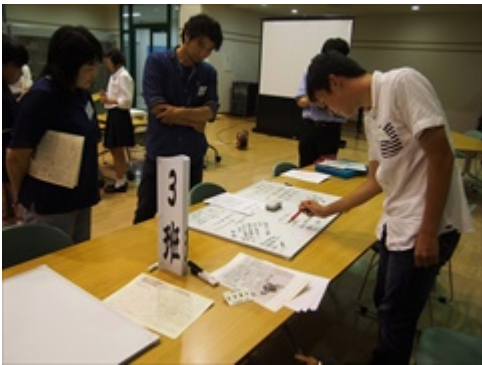
4 全体学習【45分】担当：大友

自分の心に残ったことや自分なりに考えたことをホワイトボードに書き、書いたことを班ごとに見合ったり、考えを交流したりしました。塾生の様子を見ると、他者の考えを聞くことで、新たなことに気付き、自分の考えをさらに深めることができたようでした。





その後、自由に歩き回りながら他の班のホワイトボードを見合い、お互いにどんなことを感じ、考えたのかを共有しました。共感した考えに線を引いたり、コメントを追加したりする姿も見られ、様々な考えに広く触れることができました。



最後に、改めて今日の活動を個々に振り返り、これからの自分につながることを大事にしていきたいことを短い言葉でまとめて、全体学習が終了しました。

5 次回予告【5分】

第4回（7/23）：女川駅前周辺のごみ拾い 7:30 -

第5回（8/2）：中瀬・石ノ森萬画館周辺のごみ拾い 5:30 -

第6,7回（8/11, 12）：宿泊研修（美里町「土田畑村」など） 9:00 -

メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動



平成30年度の活動



平成29年度の活動



平成28年度の活動



第1回

第2回 実践活動

第3回

第4回 実践活動

第5回 実践活動

第6-7回 宿泊研修

第8回

第9回 実践活動

第10回

第11回

平成27年度の活動



平成26年度の活動



平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞